

# ROSE

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ  
2024 Spring Vol.127

TAKE  
FREE  
無料



INTERVIEW

ジェイコブ・コーラー  
Jacob Koller

ROSE

■ 富士市文化会館ロゼシアター 「情報誌ロゼ」 2024年3月発行(第127号・春号)  
■ 発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■ 企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タムラデザイン





# ジェイコブ・コーラー Jacob Koller piano

## <プロフィール>

米国アリゾナ州・フェニックス生まれ。

高校入学前にアリゾナ・ヤマハ・ピアノ・コンクールを含む10以上のクラシック・ピアノ・コンクールで優勝する。その後、高校でジャズの才能を開花させ、アリゾナ州立大学入学後は、ジャズの作曲コンクールなどで絶賛される。

また、2007年には「COLE PORTER JAZZ PIANO FELLOWSHIP」でファイナリストとなる。

2009年移住と共に日本での活動を開始。

2015年テレビ朝日の番組「関ジャニの仕分け」内「ピアノ王決定戦」で優勝し、一躍知名度を上げる。

毎年多くのホール公演を行う現在日本で最も注目されるジャズピアニストの一人。

リーダー作は25枚を超える。

Best Wishes!  
Jacob Koller

ロゼシアター  
on demand

ロゼシアターのさまざまな記録や作品を、  
色々な角度からご覧いただけるコンテンツ  
またその最新情報をご紹介します!

## ～YouTube Vol.9～

2020年にスタートしたYouTube「ロゼシアターチャンネル」では、  
現在120本を超える動画を公開しています。ロゼシアターの自主事  
業を代表する市民ミュージカルのほか、市民演奏家によるコンサ  
ートやアウトリーチ事業の様子などをお届けしています。



## おでかけ芸術教室

11月29日、12月13日開催「おでかけ芸術教室」はアーティストが小学校に出  
向き、児童の皆さんへ目の前で生演奏を聴く機会をお届けする企画です。  
ミニコンサートの一部始終をどうぞお楽しみください。



## コミュニティまちづくりコンサート

12月10日開催「コミュニティまちづくりコンサート」はアーティストが富士  
市のまちづくりセンターに向いて地域の皆様に演奏を披露するコンサ  
ートです。クリスマスシーズンの雰囲気と共に楽しみください。



チャンネル登録お願いします!! YouTube「ロゼシアターチャンネル」



YouTubeの総登録者数60万人超、  
総再生回数1億回超と  
驚異の記録を持つ人気ジャズピアニスト、  
ジェイコブ・コーラーさんに  
6月8日開催のコンサートに先立ち、  
彼の運営する音楽教室でお話を伺いました。

活動拠点を日本にされたきっかけを  
教えてください。

約二十年前にライブツアーで初めて東京を訪れました。  
高層ビルも多く、人もいっぱい。そして言葉が全くわからない(笑)。自分の暮らしてきたアリゾナとは異なる環境が刺激的でした。ライブでは、どこにいてもお客様が音楽を静かに聴いてくれる。そういう音楽に対するリスペクトが強く感じられ、素敵だと思いました。ツアーを終えた後、もっと日本を知りたいという思いが募り、二〇〇九年、活動拠点を日本に移しました。

日本のどんな所に魅力を感じますか？

アメリカ人の僕からすると日本は千年以上にわたる歴史の長い国なので、そこに魅力を感じます。

とくに田舎が好きですね。自然はきれいだし、それが長い歴史と地続きになっている感じがとても魅力的でインスピレーションを受けます。山梨によく行くのですが、自然もいっぱいだけど古い神社もいっぱいあって、散策しているときいきなり神社が姿を現すような、そういうところが大好きです。

静岡にはあまり行ったことがないのですが、そんな体験ができたらいいなと楽しみにしています。

ジャズピアノをはじめたきっかけは  
なんでしょうか？

ピアノは父と兄がやっていたので、その影響で四歳からクラシックピアノを習い始めました。

高校でジャズバンドに入ったことがジャズをはじめたきっかけです。それまではジャズのこととはあまり知らなかったのですが、自由に即興演奏できることがとても楽しくて、一気にジャズが好きになりました。

即興演奏にはもともと興味があったのですか？

いえ、ジャズに出会うまでは知りませんでした。クラシックでは聴いた通り、譜面の通りに演奏するのが当たり前なので、即興で演奏することに縁がありませんでした。

ところがジャズバンドに入ると「じゃあ、この音階で自由に、即興で」となって。これは楽しいぞ。と感銘を受けたんです。

ジェイコブさんの音楽教室では  
ジャズピアノを教えているのでしょうか。

生徒が子どもの場合、ジャズ的なアプローチと基本のレッスンを並行して教えています。最初に曲を覚えることも教えますが、最初から即興もしてもらいます。即興演奏は日常会話みたいなものと捉えています。

音楽の場合、即興が一番難しいことだと思われがちです。ですが言葉の場合は即興で、今の気持ちを伝える日常会話を書くより、読むより、一番簡単です。即興演奏というのはそういった身近な表現だと子どもたちに感じてほしいのです。実際、即興演奏と普通のピアノレッスンを並行すると、他の能力―音を聞き分ける耳も、譜読みも、リズム感も養われます。自分で表現することで身につくものが大切なのだと思います。これは僕だけの考えではなく、即興演奏を通じて双方向的、対話的

なものを大事にする先生がずいぶん増えてきました。  
いい方向にだんだん変わってきていると思います。

ステージに立たれた時も、お客様との対話、  
コミュニケーション的な部分を意識される  
のでしょうか。

ステージのたびに、ピアノの響きやホールの響き、お客様の反応とか。意識的というより無意識にそれらを感じて、インスピレーションになるといえるか、その場の雰囲気にあわせて演奏しています。

新しい場所について、新しいお客様がいて、新しい心が刺激になって。スタジオにこもりきりになるのではなく、その場でしかできない演奏をすることを大切にしています。

YouTubeの活動を拝見すると、ホール  
だけでなく、ストリートピアノの演奏も精力的  
に行っていますね。

ホールはピアノも音響も完璧な状態で、お客様も、音楽のためにわざわざ足を運んでくれている人たちです。だからこそそれがすごく楽しいのですが、ストリートピアノにはまた別の魅力があります。

ストリートピアノの場合は、その音楽のためにきている誰かがいるわけではないのでどんな反応があるのか全く読めません。誰もなにも聞いてくれない時もあるけれど、人が集まってミニコンサートのような雰囲気になることもある。それがとてもありがたく、ワクワクします。



YouTubeの活動では様々な楽曲のアレン  
ジを目にしますが、どのようにアレンジを  
しているのでしょうか。

アレンジについてはいつも考えさせられます。演奏するにあたって自分なりの気持ちも入れたいなと思うので。

でも原曲を崩したくないので、そのバランスをとりつつ―原曲の良さを保ちながら、自分の持ち味も活かす。その組み合わせを探すのが好きです。だから、リズムを変えたり、和声を少しジャズっぽくしたり。という感じでアレンジしています。

同じ曲でもアレンジでまた変わってきますよ  
ね。どんなアレンジをされるのが楽しみですか。

お客様にもそこは楽しんでほしいですね。例えば『ルパン三世のテーマ』や『人生のメリーゴランド』などは数年前からたびたび演奏していますが、演奏するたびに進化します。

富士公演でも『ルパン三世のテーマ』は必ずやります。でも、どういう風にやるかは今の時点ではわからないです。その日その場の気持ち、お客様の反応とか、そういった全部を感じて表現するので。

ほかには自然にインスパイアされた曲とか。富士山をモチーフにした「富士五湖」というオリジナル曲もやろうかなと。精進湖にピアノを運んで作った曲です。

僕のコンサートは静かなバラードもあればアップテンポの楽しい曲もあり、ジャンルもスタイルも幅広く、小さなお子様から年配の方ま

で皆さんが楽しんでいただけるプログラムでお贈りします。

ご家族そろって楽しんでもらえるコンサートです。ぜひみなさんお越しください。

ありがとうございました。

取材・文／篠原 正人  
撮影／長橋 睦

公演情報

ジェイコブ・コーラー ピアノソロコンサート

日時：2024年6月8日(土) 開場18:30 開演19:00  
会場：富士市文化会館口ゼシアター 小ホール  
入場料：(全席指定・税込)  
一般 3,500円 学生 1,000円  
※未就学児入場不可 ※学生は25歳以下対象  
発売日：4月4日(木)10:00～  
※窓口販売は4月5日(金)10:00～

# EVENT SCHEDULE

# 2024

イベントスケジュール 2024年

ロゼシアター主催事業のご案内

7月

## ふじ寄席 春風亭一之輔・桂宮治 二人会

日時: 7月22日(月)  
開場18:30 開演19:00  
会場: 中ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
一般 4,400円  
学生 2,200円  
※未就学児入場不可

発売日 WEB:5月23日(木)  
窓口:5月24日(金)



春風亭一之輔



桂宮治

## 「2024年速報」

最新情報はロゼシアターウェブサイトです。随時告知 とうご期待!

7月

## ロゼこどもサマフェスティバル こどもコンサート

日時: 7月20日(土)  
会場: 中ホール



11月

## 劇団四季ミュージカル 『ジーザス・クライスト=スーパースター』 [エルサレム・バージョン]

日時: 11月9日(土)  
会場: 大ホール



撮影:堀 勝志古

12月

## フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

日時: 12月10日(火)  
会場: 大ホール



### WEB購入手順

- 1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)
  - 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です
  - 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
  - 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可  
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取
- ※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※「学生券」は25歳以下の学生が対象です ※購入後の変更・キャンセルはできません

4月

## ロゼこどもスプリングコンサート

日時: 4月13日(土)  
1回目/開場 10:00 開演 10:30  
2回目/開場 12:30 開演 13:00  
会場: 中ホール  
入場料: (全席指定・税込) 均一:500円  
※0歳から入場可  
※3歳以上有料。2歳以下は保護者1名につき  
1名までひざ上鑑賞無料

発売日 WEB:3月20日(水祝)  
窓口:3月21日(木)



前回の様子

6月

## ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート

日時: 6月6日(木)  
午前の部/開場 9:15 開演 10:00  
午後の部/開場 13:15 開演 14:00  
会場: 大ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
均一:500円  
※未就学児入場不可

発売日 WEB・窓口同時  
5月10日(金)



シエナ・ウインド・オーケストラ

6月

## ジェイコブ・コーラー ピアノソロコンサート

日時: 6月8日(土)  
開場 18:30 開演 19:00  
会場: 小ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
一般 3,500円  
学生 1,000円  
※未就学児入場不可

発売日 WEB:4月4日(木)  
窓口:4月5日(金)



ジェイコブ・コーラー

6月

## ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート

日時: 6月27日(木)  
午前の部/開場 9:15 開演 10:00  
午後の部/開場 13:15 開演 14:00  
会場: 大ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
均一:500円  
※未就学児入場不可

発売日 WEB・窓口同時  
5月10日(金)



富士山静岡交響楽団



Report

# アウトリーチ事業 ～地域への訪問コンサート～

Report

「アウトリーチ」とは、劇場や美術館などが館外で行う芸術活動のことを指します。今回は11月から12月におこなったロゼシアター以外の場所で開催した訪問コンサートを振り返ります。

各事業紹介

**コミュニティまちづくりコンサート**

市内まちづくりセンターを会場にシニアの方から小さいお子様までを対象とした地域の方々に向けたコンサート

**おでかけクラシック**

ロゼシアターに来館することが難しい方々を対象に、公募して申し込みをいただいた施設に向き、演奏をお届けするコンサート

**おでかけ芸術教室**

小学生を対象に、普段授業を行っている音楽室等でよりアーティストに近い距離で音楽に触れることができるコンサート



## ミュージカル体験 ワークショップ

2024年1月8日・14日・21日 リハーサル室

令和六年一月の三日間を使用して、ロゼシアターリハーサル室でミュージカル体験ワークショップを開催しました。このワークショップは、小学生から中学二年生までのミュージカル未経験者を対象に参加者を募り、総勢十六名が参加しました。講師には、昨年十月に行われた市民創作ミュージカルで、演出助手・振付を担当した華城季帆氏、歌唱指導の安藤あやこ氏を迎え、また、市民創作ミュージカル先輩出演者たちにも、お手伝いいただきました。

初日は少しぎこちない様子



初日は少しぎこちない様子



歌唱指導の様子

最終日には、歌、ダンスともに堂々と、楽しみながらできるようになりました。



最終日には笑顔いっぱい



成果発表の様子

体験ワークショップの最後には、参加者の保護者を観客に成果発表を行い、体験した内容を披露しました。緊張も見られながらも、笑顔で元気いっぱい三日間の成果を披露することができました。保護者の皆様から大きな拍手をいただき、芝居、ダンス、歌唱だけでなく、人前で披露する楽しさも体験していました。

参加いただいた皆様は、日に日になんが仲良くなり、楽しい声が大きくなっていったのが印象的でした。体験ワークショップを通じて、ミュージカルに必要な一体感も自然に出来ていました。

### コミュニティまちづくりコンサート

2023年 12月10日(日)

(午前) 富士南まちづくりセンター

(午後) 吉永まちづくりセンター

渡邊幸成(トランペット) 河井愛見(ホルン)  
松本友美子(ピアノ) 富士クラシック協会より

12月10日に、富士南まちづくりセンターと吉永まちづくりセンターで行いました。令和元年にもまちづくりセンターで、「ロゼマタニティコンサート」を開催しました。今年度は対象を絞らず、地域のすべての方を対象に実施しました。12月ということもあり、季節にぴったりのクリスマスソング・讃美歌からポピュラーなディズニーソングや歌唱曲まで様々なジャンルの曲を演奏しました。その中の1曲、ジングルベルでは、子供たちに鈴を配り、演奏に参加してもらうなど、観客も巻き込んだ内容となりました。午前・午後の回のどちらも入場者が80名を超え、多くの方にコンサートを楽しんでいただけました。



12月4日 コフレ・アントレード富士 食堂ラウンジにて

### おでかけクラシック

2023年 12月4日(月) コフレ・アントレード富士

川島祐子(フルート) 杉山倍美(ピアノ)

2023年 12月14日(木) たかおかこども園

榎葉隆仁(トランペット) 関さとみ(パーカッション)

ロゼシアターHPで、開催団体を募集し、今年度は、ケアハウスとこども園の2箇所で開催しました。それぞれアーティストは異なり、その開催場所・団体に応じて、適したプログラムをアーティスト自身が考え提供しました。

### おでかけ芸術教室

2023年 11月29日(水) 吉永第一小学校

ALBOSTトリオ(パーカッション・ピアノ・マリimba)

2023年 12月13日(水) 須津小学校

河井愛見(ホルン) 中澤孝之(トランペット) 石田穂乃実(ピアノ)

2023年 12月19日(火) 富士第二小学校

渡井綾(ヴァイオリン) 加藤葵(オーボエ)

市内の小学校3校で実施しました。クラス単位で演奏を聴くことができ、普段より近い距離で音色を聞いたり、間近で楽器を見ることが出来ます。リトミックやプロの演奏家が使う楽器の演奏体験など、内容もアーティストによって様々でした。



12月19日 富士第二小学校 音楽室にて

# 県内中学生・高校生、 シエナとの夢の共演!!

共演者選抜コンクール 11月12日(日)  
シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会 11月23日(木祝)



## アフリカン・シンフォニー

《共演者》  
遠藤春奈  
金澤瑠南  
豊泉季歩  
岡田悠花  
田中陽葵  
長島陸翔  
茨木奏音  
岩崎悠馬



## 宝島

《共演者》  
市村悠実乃  
望月夕香  
浦川萌  
中野心蒼  
奥野愛唯  
三神結香  
住吉陽向  
進藤龍翔  
青木わかな  
伊藤智朗  
大澤灯  
繁田快優  
前田光律  
門内杜和  
寺南希娃  
妻木晴  
古関心暖

ロゼシアター開館三十周年記念事業として『シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会』を開催しました。そこでシエナ・ウインド・オーケストラとの共演プログラムに参加する演奏者を定めるため、静岡県内の中学生・高校生を対象とした「共演者選抜コンクール」をおこないました。

**緊張感に包まれたコンクール**

静岡県内の中高生二十五名がコンクールに参加しました。五名の審査員が見守る張り詰めた空気の中、皆さん日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しました。その結果、全員合格ラインに達し、夢の切符をつかみました。



審査員  
・森亮平 (指揮者)  
・佐藤拓馬 (コンサートマスター、クラリネット)  
・大津立史 (サクソ)  
・熊代祐子 (トランペット)  
・関聡 (パーカッション)



### ▶参加者コメントより

- リハーサル時からワクワクして本番はとにかく楽しかったです。シエナの一員になった幸せな時間でした。貴重な経験を学生の間にできて、こうなりたいと目標ができました。
- 間近で本物の音を聴けたので、その音に近づけるように練習していきたいと思います。
- 同じ楽器を演奏する同世代の演奏技術や、各々の音楽を聴き学ぶことができました。大好きなシエナの方々と演奏できたことに感謝しています。

### ▶参加者コメントより

- コンクールの講評を審査員の方全員から書きのままだけなのが嬉しかったです。
- 審査員の先生に指摘されたことが改善できるように練習しようと思いました。

## SIENA WIND ORCHESTRA



©Kenji Shimizu

【プロフィール】  
1990年に吹奏楽の可能性を追求すべく結成されたプロのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点に演奏活動を展開しており、定期演奏会のほか文化庁学校巡回公演等の青少年育成事業への出演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。2002年には首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを展開するほか、2010年東京都文京区および文京シビックホールとの事業提携を皮切りに、現在までに8団体と事業提携を結び、これまでの幅広い演奏活動とともに地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。富士市とは2018年公益財団法人富士市文化振興財団(ロゼシアター)と3者で事業提携を締結している。

### <シエナ・ウインド・オーケストラのコメント>

今回コンクールの実施により、コンサートでの共演者を決めるという斬新なアイデアをロゼシアターさんから提案いただき、胸が躍りました。期待通り、コンサートでは素晴らしい成果が得られたと思います。今後もこの結果をふまえ、皆様に喜んでいただける企画をロゼシアターさんと取り組んでいきたいです。どうぞご期待ください!

### 次のステップへ

「シエナ・ウインド・オーケストラは自分にとって原点のような存在」と参加者の一人が話しています。この経験を経て皆さんがどんな未来を歩んでいくのか、とても楽しみです。

ロゼシアターはこれからも、吹奏楽に親しむ皆さんを支援していきます。次の機会も皆さんのご参加をお待ちしております。

シエナメンバーとの共演の日。中高生はリハーサルから参加し、段取りなどを確認しました。本番前の落ち着かない中、楽器の調整、音出しなど各自準備を行いました。そして開演、中高生の出演は第2部の最後です。それまでは一般のお客様と同じように客席で鑑賞しながら緊張の時を過ごします。いよいよ共演プログラムの時間、司会者の合図で客席からステージへ上がり、「アフリカン・シンフォニー」と「宝島」を披露し、見事に夢を叶えました。演奏家への歩みを進める皆さんはとも輝いていました。

### 共演にかけた熱い1日

# 西洋音楽史の扉

## 第十二話 世紀末と世界戦争 クラシック音楽はなぜ終わったのか？

「西洋音楽」クラシック音楽。何となく、こんなふうに使っていませんか？クラシック音楽は、膨大な西洋音楽史のほんの一部にすぎません。人類史をひもとくと、つねに音楽は人類とともにありました。西洋史のなかにも、さまざまな音楽物語があります。今回はいよいよ「西洋音楽史の扉」シリーズの最終回。「第一次世界大戦とクラシック音楽の終焉」の物語です。



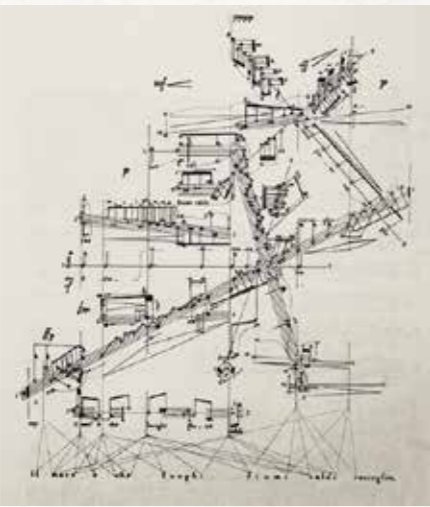
毒ガスを浴びて (1919) ジョン・シンガー・サージェント ロンドン帝国戦争博物館

### 「世界の終焉」―第二次世界大戦の衝撃

「クラシック音楽」と聞いて多くの人が思い浮かべるのは、バッハ、モーツァルトなど偉大な作曲家や、ピアノやオーケストラ音楽などでしょう。ところが、この伝統的な「クラシック音楽」は、あるときを境に終焉を迎えます。一九一四年、ヨーロッパで勃発した第二次世界大戦です。この戦争が世界の文化や文明、芸術など人類史にあたえた影響は甚大ですが、西歐世界の十九世紀はこの戦争で終わり、二十世紀はこの戦争の終結からはじまるといわれるほど、歴史の大きな転換期となった事件でした。この戦争によって、はじめて毒ガスなどの化学兵器や、潜水艦、戦車などの新兵器が導入され、人類はついに自らを破壊に追い込めるほどの狂気ともいえる武器を手にしたのです。日本では「第一次世界大戦」と呼ばれますが、当時のヨーロッパでは、文明の没落を告げる「世界戦争」と呼ばれたのです。

### 「理性の時代」から「狂暴の世紀」へ

十九世紀のヨーロッパは、まさに「黄金時代」でした。それまでのヨーロッパが積み上げた啓蒙主義による「理性の時代」は、産業革命の恩恵による的な音楽語法を捨て去ったことにあります。たしかに、シェーンベルクの「十二音技法」や、シュトックハウゼン、ブーレーズなどの「セリー音楽」、ジョン・ケージの「偶然性の音楽」など、二十世紀音楽は、これまでの伝統的な音楽語法とは明らかに異なる音楽言語を生み出そうとした試みともいえます。けれども、なぜ西歐音楽は、それまでの音楽語法を葬り去らなければならなかったのでしょうか？それを考えるためのヒントとなる証言が、さきほどのツヴァイクの『昨日の世界』にあります。「私自身のことばを話す世界が、私にとっては消滅したも同然となり、私の精神的な故郷であるヨーロッパが、自らを否定し去った」という部分です。つまり、ツヴァイクのような十九世紀的な鋭敏な知性にとって、この戦争が破壊したのは、ヨーロッパというひとつの言語精神そのものだったのです。



20世紀音楽の楽譜 Bussotti Sicilianoより

### 世界を奏する「言語」としての音楽

世界戦争という、まるで自らを破壊し尽くすような狂気のなかで、自らを見失い、自らの「言語」を喪失してしまうほどの衝撃を受けたヨーロッパ世界は、そこから立ち上がるために、新たな「言語」を必要とした。だから音楽もまた、そ



### クラシック音楽はなぜ終わったのか？

る高度な文明と、洗練された芸術・文化によって、輝かしい未来が約束されていると誰もが信じていたのです。それが、破壊と破滅をもたらしてしまっただけで、そのショックと絶望が、ダダイズムや未来派などの過激な前衛芸術運動につながります。十九世紀末ウィーンを代表する作家シュテファン・ツヴァイクは、ナチズムが席巻する祖国を追われてアメリカ大陸に逃れ、時代の遺棄ともいえる自伝的作品『昨日の世界』を書いて自殺しますが、彼はこの書のなかで、一九一四年の大戦の最初の数週間うちに、誰かと道理に合った対話を交わすことは、次第に不可能となった。「最も平和を好む人々、最も気立てのいい人々も、血の臭いに酔ったようであった」「友人たちが一夜にして狂信的な愛国者になり、更に愛国者から飽くことない併呑主義者へ変わっていった」と書いています。それは、西洋世界が「理性」から「狂暴」へと変貌した時代の生々しい証言です。

### クラシック音楽はなぜ終わったのか？

このことは、第一次世界大戦を境に、クラシック音楽の伝統が終焉を迎えたこととも重なります。「現代音楽」と呼ばれる二十世紀音楽の特徴は、それまでの機能と声と調性音楽という伝統的な音楽語法を捨て去ったことにあります。たしかに、シェーンベルクの「十二音技法」や、シュトックハウゼン、ブーレーズなどの「セリー音楽」、ジョン・ケージの「偶然性の音楽」など、二十世紀音楽は、これまでの伝統的な音楽語法とは明らかに異なる音楽言語を生み出そうとした試みともいえます。けれども、なぜ西歐音楽は、それまでの音楽語法を葬り去らなければならなかったのでしょうか？それを考えるためのヒントとなる証言が、さきほどのツヴァイクの『昨日の世界』にあります。「私自身のことばを話す世界が、私にとっては消滅したも同然となり、私の精神的な故郷であるヨーロッパが、自らを否定し去った」という部分です。つまり、ツヴァイクのような十九世紀的な鋭敏な知性にとって、この戦争が破壊したのは、ヨーロッパというひとつの言語精神そのものだったのです。

「西洋音楽史の扉」シリーズは全十二回を通して音楽の歴史を紐解いてきました。今回のクラシックカフェもどうぞご期待ください。

浦久俊彦

参考文献  
La Chronologie de l'histoire de la Musique, Gerard Garsi, Editions Jean-Paul Gisserot  
Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Université d'Oxford/Robert Laffont  
『昨日の世界(1・II)』 シュテファン・ツヴァイク著、原田義人訳、みすず書房 1999  
『第一次世界戦争を考える』 藤原辰史編、共和国 2016

浦久俊彦 (うらひさ としひこ)  
文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、愛知県教育委員会教育アドバイザー。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリ芸術財団第20回佐治敏三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』(講談社)、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』(以上、新潮社)、『オーケストラに未来はあるか(指揮者・山田和樹との共著)』(アルテスパブリッシング)など。最新刊は『リベラルアーツ〜遊びを極めて賢者になる』(集英社インターナショナル)。

# INFORMATION from ROSÉ THEATRE

## Pick up vol.3 「特別展示室」

### あなたの作品を多くの人に届ける

館内でも人の往来が多い通路沿いに位置する特別展示室。BGMの再生やガラスケースでの展示、可動式パネルによるレイアウトの変更などニーズに合わせた展示が可能です。ホールの待ち時間に立ち寄り方も多く、新しい出会いの場になるかもしれません。あなたの作品の魅力を、より多くの人に伝えてみませんか？



## ふじ・紙のアートミュージアム

### 半谷学展

観覧無料

開催期間:4月1日(月)~6月30日(日)  
開館時間:10:00~18:00  
休館日  
4/15(月)、5/20(月)、6/10(月)  
\*ロゼシアター休館日に休館



●最新情報は、ウェブサイト・facebookをご参照ください。

### ふじ・紙のアートミュージアム

〒416-0953 静岡県富士市夢原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)  
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>

## プレゼントのご案内

### Aコース 公演チケット2組4名様

対象公演:『ジェイコブ・コーラー』  
6月8日(土) 19:00開演

### Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券(1,000円分) 2名様

■応募方法:はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・希望プレゼントを明記し、下記アンケートにご回答のうえご応募ください。

- ① 情報誌を入手した方法または場所
- ② 情報誌で面白かった内容、ページ
- ③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先:〒416-0953 富士市夢原町1750番地  
ロゼシアター「情報誌ロゼ127号」プレゼント係

■締切:5月2日(木)必着

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)

## レストラン「ロゼテラス」

令和5年4月よりメニューを一新し、営業しております。ご来館の際はぜひご利用ください。



### たっぷり茸の ポルチーニクリーム

スープサラダセット 1,680円  
※スープ・サラダ・ドリンク  
・抹茶のパウンドケーキ付き 2,000円

◆営業時間 11:00~15:00(ラストオーダー14:30)

◆場 所 2階レストラン(ロゼテラス)

◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727

※当面の間は月曜休店・ランチ営業のみ。  
詳細は「ロゼテラス」ホームページをご覧ください。



# FLASH BACK 2023.11~2024.1

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします!2023年11月~2024年1月をフラッシュバック!!

## 「シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会 ~中学生・高校生との共演プログラム~

11月23日(木・祝) 16:00開演

- とてもステキな音色で、終始くぎづけで見入ってしまいました。(20代女性)
- 中高生との共演もとても良かったです。演奏に参加できた皆さんにとって、良い思い出となったでしょうね。楽しく幸せな時間でした。(60代男性)
- 音の一体感や深みに感動しました。(高校生女性)



## 「コミュニティまちづくりコンサート」

12月10日(日) 富士南まちづくりセンター 10:15開演  
吉永まちづくりセンター 14:30開演

松本友美子(ピアノ)  
河井愛見(ホルン)  
渡邊幸成(トランペット)



## 「おでかけクラシック」

12月4日(月)  
コフレ・アントレード富士

川島祐子(フルート)  
杉山倍美(ピアノ)



12月14日(木)  
たかおかこども園  
榛葉隆仁(トランペット)  
関さとみ(パーカッション)



## 「おでかけ芸術教室」

11月29日(水) 吉永第一小学校  
ALBOSTトリオ



12月13日(水) 須津小学校  
河井愛見(ホルン)  
中澤孝之(トランペット)  
石田穂乃美(ピアノ)



12月19日(火) 富士第二小学校  
加藤葵(オーボエ)  
渡井綾(ヴァイオリン)

## 「ミュージカル体験ワークショップ」

1月8日(月・祝)、14日(日)、21日(日)  
12:00~16:00

- みんなと友だちになって成果発表も楽しかったです。
- とても楽しくできました。
- 楽しくおどることができました。ミュージカルのことを知ることができました。



## 「ふじ寄席 春風亭一之輔 独演会」

1月10日(水) 18:30開演

- 抑揚があつて面白く、一之輔さんの表情もじっくり見れました。話に引き込まれて、ずっと笑っていました。(30代女性)
- “笑いは健康の基”そんな感想が持てた楽しい会でした。(60代男性)
- 生で見る、聴く落語の凄さを感じました。(40代男性)



## 休館日のお知らせ

4月15日(月)  
5月20日(月)  
6月10日(月)

## 編集後記

2024年になり、早くも2ヶ月が経ちました。昨年は開館30周年のメモリアルイヤーとして、多数の公演を開催いたしました。ご来場いただいたお客様には感謝申し上げます。令和6年度も魅力的な公演を準備しています。今後もご愛顧のほどよろしくお願いたします。(木公)

本誌は2月10日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ <https://rose-theatre.jp> ■X「ロゼシアター公式アカウント」@rose\_staff\_fuji ■YouTube「ロゼシアターチャンネル」 ■LINE ロゼシアター【イベント】

